

投稿規程・執筆要項・奥付

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/2297/00069156 |

『金大考古』投稿規程

1. 原稿は e-mail で編集委員に送る。
2. 校正は編集委員及び執筆者が校了を同意するまで行う。
3. 査読は編集委員 2 名を以って行なう。
4. 原稿の著作権は著者に属す。ただし、電子データ等の公開権利は金沢大学及び金沢大学考古学研究室が有する。

『金大考古』執筆要項

1. 版面について：InDesign の場合、文字版面は A4 版横書き 23 字× 42 行、横 2 段組。余白天 30mm 地 19.187mm 左 26.5mm 右 26mm。ヘッダーに「金大考古 号数, 発行年, 論文名・ページ数」、フッターにページ番号を入れる。
2. 書体：InDesign の場合、和文は MS ゴシック（論文タイトル 17Q・著者名 15Q・見出し 14Q）、本文テキストは MS 明朝 13Q、欧文は Times New Roman、13Q。
3. 原稿・図版類の入稿形態について：原稿は Word または InDesign とし、図版類は JPEG, PNG など汎用性のある形式でそれぞれのデータを提出する。その他のデータ形式での入稿は編集委員と協議する。図版のキャプション (InDesign 13Q) も記載する。原稿末尾に図版出展を明記すること。
4. 使用言語は日本語、英語、中国語を基本とする。
5. 文章表記について： 度量衡単位は cm、kg、m³等のように記号を、数量は算用数字を使用する。
6. 註・参考文献について：註は通し番号を付し、文章末尾に一括して掲載する。脚注形式を希望する場合は連絡すること。本文中の参考文献は執筆者と刊行年を明記し、引用箇所が明確な場合はそのページ・行数を参考文献とともに記入する。
(凡例)
足立拓朗 2016 「石川県内の縄文時代陥し穴猟—関東との比較から」『北陸史学』65 北陸史学会：59-70.
Adachi Takuro, Sumio Fujii, 2018, Wadi Hedaja 1 and 2 : A chrononolical assessment based on unearthed artifacts, *Al-Rāfidānn, vol.39*, The institute for cultural studies of Ancient Iraq, Kokushikan University: 55-69.
Akishev K. A.: Акишев К. А., 1978, *Курган Иссык*, Москва: Искусство.
7. 挿図・写真図版について：a. 挿図はデジタルトレースまたは手書きトレース済みの完全版下とし、縮尺・写植・見出しなどの指示を入れる（写真図版も同様）。b. 編集作業を潤滑におこなうため、割付見本を作製する。c. 挿図および表は典拠を明記する。但し執筆者自身の原図・表の場合には断る必要はない。
8. e-mail アドレスを論文末尾に掲載

『金大考古』81号 編集担当

足立拓朗 (金沢大学)、大谷育恵 (京都大学)、高濱秀 (東京国立博物館 名誉館員)

金大考古 第 81 号

金沢大学人文学類
大学院人間社会環境研究科 考古学研究室
920-1192 金沢市角間町
kanazawa.archaeology@gmail.com
2022 年 12 月 26 日
